

第92号

平成 25 年 7 月 15 日発行

## 議会だより



6月定例会 " <b>戸籍の電算化"</b>	2ページ
一般質問 1名登壇	3ページ
村 民 の 声 「せきかわゼミナール」	4ページ

災害から戸籍を守る!正確!必要な戸籍が短時間で証明できる!等 住民にとっても大きなメリットのある事業です。

の種類がある苗字は、 には規則にのっとった方法 ため、 には、 た目が悪くなります。「渡 が多くなります。その訂正 時間がかかり、 るしかありませんでした。 しかもちいられないので見 これまでは、 和文タイプで作成すると ゆ 専門性を要求される 戸籍熟知者が作成す 「佐藤」 誤字・脱字 など幾つも

の電算化契約 6378万7500円

> 帯では18歳まで医療費を助 3人以上の子どもがいる世

成します。

した。

契約2件、 間開催し、

補正予算3件を審議しました。

報告1件、

承認2件、

条例3件、

一般質問では、

内外の市町村はほとんど電 作成・保存・証明をパソコ ンでデータ管理に移行する 戸籍を紙に打つ方式から、 今年度と来年度2ケ年で、 戸籍の作成 県 ど詳しい知識をもたない人 瞬で漢字の候補がでてくる。 を探すのに時間 詳しく調べて、 短時間で書類が作成でき、 こりません。 が入力しても、 た厳密なものだが、 戸 かっていました。 る手間が省けます。 ラーとなる) 台帳から探し出し、 (整合性が無い文書は 、籍の文書は法務省が定め 今後のシステムでは、 で間違いがお 戸籍の証明は、 コピーをす 作成段階 が 、それほ さらに 相当

工

算化を終了しています。

メリットは大変大きく、

,籍を電算化します。

旧できます。 失等がおこらず、 また、 災害時に損傷・ すぐに復 紛

# 平成25年第3回定例会を、6月13日から21日までの9日 条例 0 部改

Ī

1名の議員が登壇し、平田村政を質しま (一部掲載) 財産の取得 を助成していまいしたが、 する条例の 「子どもの医療費助 これまで15歳まで医療費 部改正 成に関

## 財産 0) 取

か

3039万7500円です。 の買い替えです。 古くなったロータリ除雪 価格は約 車

> 員 理事長の管理責任は

ています。 全員と顔合わせをしてお ています。 話を聞く機会をつくっ その都度、 年に 回 指導をし 職員

働けるよう、職場環境の改 善に努めていただきたい。 職員が、 気持ちよく



いないのはなぜか。 「情報センター」に職員が 観光客が多い土日に

現状です。今後は、 討したいと思います。 ト等でも利用できるよう検 利用客が少ないの イベン が

渡辺健作 議員

何ら

いと考える

務数。 ②人選方法。 ③現在、複数兼務 ①公職の種類は。 5点について伺う。 区長をはじめとし している人数と兼 それに関して次の の公職があるが、 た人を含めた多く て国から委嘱され 関川 対には

⑤区長と議員の兼 員の兼務はいるか。 ④現在、区長と議 設置している公職 見解は 務について村長の 1 国 や県が

> 3つ兼務14人、4つ兼務6 171人、2つ兼務40人、

人、5つ兼務3人、6つ兼

合

1つだけの

委員

副 いて申し上げます。 は把握してないの 村長、 行機関は村長、 決機関は村議会 村の公職につ 教育委員

区長と議員の兼務は1人で

⑤兼務することに何ら

わってもらっています。

4

長は行政の補助機関であり 影響は考えていません。

③35の委員会について調査 嘱などさまざまであります。 どにより、選挙、関係機関 あります。②法律や条例な 関の付属機関として、 資産評価審査委員会、 した結果、 同意により選任、 や団体からの推薦、 行機関の補助組織は18ほど 条例などにより19 委員会があります。 選挙管理委員会、 農業委員会、 延べ委員の数 任命、 あり、 監査委員 議会の 執行機 法律、 公平 委 執 ますが、 書などの配布や行政事務の ます。 場です。また、 周知徹底、 はまるものではないと考え を禁止している条項もあり 法で定められており、 目であり、 の取りまとめなどが主な役 められており 行政を助ける立場にありま して議会として議決する立

議員は地方自治

主と

集落住民の意見

ないか。 もなかなか引き受けてくれ にお願いしても引き受けて そのために、 る人がいないと聞いている。 れる人を選んでいるのでは は別として、 て。民生委員をお願いして いしている民生委員につい ているが実際は村よりお願 国からの委嘱になっ 適任者だと思う人 引き受けてく 適任かどうか

計236人の方が村政に係 務1人、7つ兼務1人、

> くれない辛さもあると思う んでもらいたい。 できるだけ適任者を選

区長の職務は条例で定

村からの文

考えています。 考委員にもお願いしたいと た、今の趣旨を生かして選 しているのが現状です。 域ごとにふさわしい人選を スが重要であり、 範囲からみて地域のバラン います。民生委員は活動の を国が委嘱する形になって いして決めてもらい としては、 民生委員を選ぶ手 選考委員にお願 細かい地 それ ま 順

議員の兼職

区長はそれに当て

制 の事務等について監視 会の権限に、 化される。 の要望については当然予算 長会からの要望もあり、 勤の役場職員の立場と考え ついて。区長の身分は非常 調査、 区長は、行政要望や区 区長と議員の関係に 承認、 地方自治法の議 地方公共団体 同意等を そ

はありません。

す 村 長 ことになりはしないか。 長と議員の兼務は何ら いません。 職員という取り扱い 仕事も多くあります、 ているのであって集落での 仕事はその部分をお願い ろな仕事をお願いしてい が賛成すると、 行政側から出た案件を議員 された場合、 う要望等が議案として上程 する権限とあり、 した案件を自分で賛成する 機関であり、 しかしながら、 区長の仕事は村の したがっ 区長としての 自分から出 村のいろ 予算を伴 区長の はし 村の 問 L ま 補 11 区 7



### 民の声

ご存知ない

方も多い

と思

てはい

ますがまだまだ

も

う

てご存知ですか

広報

に

地 ツ

域

活

性 は

化

ル

ア

聞でたまに取り

上げて

発 発

信 的

で

き

る

村

な

つ 情

## 「せきかわゼミナール」

## 光 さん (内須川)

で 3 集め 体 る 々 ま 私 年 なことを が主 たち て、 3 0 グ (現 目になりま たり 観 り ル 主 光 で 関 在 は な ž プで ガ 0 活 ||せ 勉 約 1 わ 動 村 な ][[ K げ す 7 強 15 り 村 す。 頂 関 L これ する ょ た 村 堀 11 内 育 内 لح ŋ 0 年 を 7

T ・ます。 加 集 委員として 裏方協力などです。 R プ るゼ Ι 口 米 巡 今年は 各種 ジェ 沢 サ ミッ 街 ク 道 生 米 Μ イベ 一も多 1 1 村 坂 A T S 線 加 0) づ 0 実 < 0

> 考え たち から私たちの合言葉は なくらい んだもの勝ち!」。 か れ も はそ 7 ら 実 ら É つ 41 なも ませ う た 所 少し 関 な 属 ん。 0)  $\prod$ 堅 あ で 知り 村 7 0 しくは す。 ただ生 が 11 ま た 好 る私 す。 だ 楽 11 き

す。 甲斐を大 ゼミナ を ŧ らえ ただ、 頂 り、 るからこそ参 けることには そこ る 1 この ル プ で 口 に所 .感じ 0 ジ 「せ エ 加 発 P ク き 7 言 さ 属 は 卜 せ か 0 17 場が ま り 7 7 わ

を語 す。 体 成 ま 験 題 Z ミ生 的 か 方、 れ ŧ ?ら私 に つ 式 れ る 動 ス 3 え たち ŧ くこ 丰 観 募 7 集 う 光 目 が 誘 き す ガ が を で 7 á つは 7 す。 は 向 が は な 1 決 今 11 昔 K 17 か 昨 新 ま 年 Z 話 0 ま Ź

る

関

||

村 目

や

社 に

て自ら研

表を行

当

初

0

事

業

的

特 低 報 がロ き 是非連絡ください 告 に か で で 私 ば わ **‡**) す。 は 容 開 はくだら 0 動 1) 設 限 で 記 私 L す。 味 定 7 な کے 0 は 5 11 あ 11 な 11 ます 居 う る 近 は況



員長長 津菅平 野原田 一がかり

員

委 委 委 員員員 佐古渡 藤川辺 友芳秀 之房雄

田

Ф

村込ま くださっ が 7 伺 雅 なことに な に 女 ズム 0 爽 う 極 加 K 姿 が ク 工 取 ス 出 P まりな にお れ ス る 口 者 ス に 富 戦 ス 材 会い かな に合 は男 コー 裕 は も愛さ 後、 のよ」と、 心 ŧ ス は 0 者社 姿 教 邪 た。 力 な 層 ツ 耳 11 健 鹿 魔 を想 笑顔 わさ プを 庶 慣 性 健 が P 何 な 室 1 Oか 康 鳴 ż . 交ダ 5 健 ら、 民 場 日 れ は か康 れ 1 0 であ 館 で答え に た音 れ IJ は 的 像 7 康 本 為 もあ 燕尾 志向持 若 広ま が · の 社 お話 お 7 る。 発 7 K 可 11 B 憐 5 男 つ 祥 交 7 人 つ 服 0 を 11 優 加 1 そ